

## — 愛する人を愛せる社会に —

監督・プロデューサー：ベン・コトナー、ライアン・ホワイト 編集：ケイト・アメント A.C.E. 音楽：ブレイク・ニューリー 2013年/アメリカ/英語/112分 配給：ユナイテッドビープル 宣伝：村井卓実 © 2014 Day in Court, LLC

# 同性婚をめぐる歴史的な裁判 その感動的な舞台裏を追う

同性婚が合法とされていたアメリカ・カリフォルニア州で、2008年11月、結婚を男女間に限定する州憲法修正案「提案8号」が通過。同性婚が再び禁止されることになった。この「提案8号」を人権侵害であるとして州を提訴したのが二組の同性カップル。クリス&サンディとポール&ジェフ。アメリカ合衆国最高裁判所で婚姻の平等が初めて争われるこの訴訟のもと、かつてブッシュ対ゴアの大統領選で敵同士だった2人の弁護士、テッド・オルソンとデヴィッド・ボイスも手を取り合う。愛とは、家族とは、人権とは……。彼らのかつてない闘いを5年以上に渡って撮影し続けた感動のドキュメンタリー。

私は、「LGBT」というものは存在せず、あるのは「性的指向を口実にした暴力だけだ」と考えているが、この映画は、そのことを示していると感じた。性的少数者を「LGBT」という特別な人種と認定した上で権利を認めるのは、差別なのだ。そのような差別の残存する社会に生きることは、全ての人にとって苦痛である、ということを、この映画で、確認することができたと思う。同性婚を拒否する保守主義者には、ぜひともこの映画を通じて、「真の保守主義」について学んで欲しい。

安富歩（東京大学東洋文化研究所教授）

説得力と情熱に溢れる感動的なシビルライツフィルム。  
初めから終わりまで、見るものの心をつかんで離さない。  
The Hollywood Reporter

明快でバランス感覚に優れ、  
知るべき情報にあふれている。  
魔法にかけられたような映画体験。  
Evening Standard (UK)

観客はまさに動きつつある歴史の立ち会い人となる。  
Indiewire



上映会のご予約・お問い合わせ

一般財団法人 大竹財団



東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階

JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分（八重洲地下街24番出口右階段すぐ）、  
東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分



<https://ohdake-foundation.org>



03-3272-3900



Google  
マップ  
QRコード

スマートフォンのQRコード  
アプリで読み取ると、現  
在地から会場までのアク  
セス方法が検索できます

